



## 頑張った体育大会！

令和2年度の体育大会を9月13日（日）実施しました。例年、5月に実施している体育大会ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で今年は9月に実施しました。現在、「学校の新しい生活様式」に添って教育活動を行っていますが、体育大会も同様です。

毎朝の体温測定、健康チェック、運動時や身体的距離が十分とれない場合のマスク着用、こまめな手洗い・手指消毒、身体的距離を確保する等様々な対応が求められました。整列時の距離の確保、人と接触しない種目決定、活動時間の短縮、昼食なしの午前中開催など、異例の体育大会だったと言えるかもしれません。

しかしながら、生徒の活躍は見事でした。残暑が厳しい中の練習にも熱が入っていました。本番のリレーや学年種目等、どの競技にも一生懸命に取り組んでいました。特に、団体演技の「熱血有中ソーラン節」は、素晴らしかったと思います。

ソーラン節はとてもきつい種目ですから、気持ちが悪く切れてしまうと満足に演技をすることができません。生徒が一生懸命取り組む姿に感銘を受けました。

保護者の皆様方には、除草剤散布やテントの準備・片付け等本当にありがとうございました。



## 読書のすすめ！

読書は、子どもたちが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人としての生き方、在り方について考えを深めて倫理観を高める上で欠くことのできないものです。かつて日本人は世界一の読書力をもつと言われていましたが、現在、読書に当てる時間は世界最低レベルという調査結果がでています。本は読んでも読まなくてもいいのではなく、本は読まなければならないものであるという認識で、朝読書にも取り組んでいます。

読書を通して豊かな心と志を育み、たくましく成長して欲しいと願っています。特に、小学校高学年から中学生の時期は、一生を大きく左右する時期だと言われています。この時期に「志」を立てるかどうか分かれ目になります。ですから、生徒には良書をたくさん読んで欲しいと思います。中でも偉人の伝記を読むことは、「志」を立てる上で最良の本だと考えています。

## ～中学バレー県選抜に選出～

9月8日（火）の長崎新聞にも掲載されましたが、本校3年生の野田将希君が、中学バレーボール県選抜チーム選出されました。

例年であれば、12月に開催されるJOCジュニアオリンピックカップ全国都道府県対抗中学大会に出場するのですが、今年はコロナ禍の影響で大会が中止となっています。

しかしながら、10月18日に嬉野市で行なわれる佐賀との交流試合「西九州大会」をはじめとして活動していきます。

野田君の活躍を期待しています

## ～読書標語で多数入賞～

市PTA連合会主催で毎年実施されている「第9回読書標語（中学生の部）」で本校生徒の作品が数多く入賞しました。

市PTA新聞にも掲載されていますが、入賞作品を紹介します。

- 最優秀賞 井上 瑠太（3年）  
「あの一冊 今も自分を 支えてる」
- 優秀賞 野原 大愛（1年）  
「ステイホーム 家族で読書を 楽しもう！」
- 優秀賞 鶴川 千扇（2年）  
「その本は あなたの未来 変えるカギ」
- 佳作 猿渡 あんり（3年）  
「ネットより つながりが深い 本の世界」

## 10月の行事予定

1	木	
2	金	駅伝大会激励会 英語検定
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	市中総体駅伝大会
7	水	ノ一部活動
8	木	
9	金	全校集会
10	土	
11	日	
12	月	教育週間
13	火	教育週間
14	水	教育週間 ノ一部活動
15	木	教育週間(道徳授業、高校説明会)
16	金	教育週間
17	土	
18	日	家庭の日 ノ一部活動
19	月	
20	火	学級専門委員会
21	水	3年実力テスト ノ一部活動
22	木	3年実力テスト 全校専門委員会
23	金	前期終了テスト(技術・家庭)
24	土	
25	日	
26	月	生徒集会
27	火	
28	水	ノ一部活動
29	木	
30	金	合唱コンクール
31	土	

※行事は変更になる可能性があります。

## <校長室の窓から>

「立腰」という言葉をご存じでしょうか。これは、教育学者である森信三氏が提唱された、腰骨（こしぼね）をいつも立てて曲げないようにすることにより、自己の主体性の確立をはじめとした人間形成を実現する、極めて実践的な方法です。腰骨を立てることの意義は、古来より、禅や武道などでも実証されてきました。その立腰を、教育の現場においても実践され、経験的な暗黙知であったとも言える立腰の理想的な方法を追究され、原理として確立されたのが森信三氏です。その効果とは具体的には次のようなものです。

- ・やる気がおこる ・集中力がつく ・持続力がつく ・行動が俊敏になる
- ・内臓の働きがよくなり、健康的になる ・精神や身体のバランス感覚が鋭くなる
- ・身のこなしや振る舞いが美しくなる

このように、私たちの身体と日常生活に色々な効果をもたらします。特に、やる気や集中力、持続力といった精神面で効果があります。一度経験し、継続すれば、それは当たり前のことのように身につきます。家庭においても腰骨を立てることを日常的に行う事によって、集中力や持続力がつくなど、自分の力に変えることができます。子どもの時からの習慣が、一生の宝物となるに違いありません。